

心豊かな子どもの育成のために

鹿児島市立吉野小学校 家庭教育学級 学級長 田子山 祥江

吉野小学校の家庭教育学級では、親としての資質の向上と、心身共に健康で心豊かな子どもの育成のために、年8回講座を計画し様々な学習に取り組んでいます。

6月には、基本的な生活習慣の育成について学習しました。

前鹿児島市立桜丘東小学校長の有川民子先生をお招きして、「あいさつ、学習、遊び、いじめ問題」をテーマに話していただきました。

この講話で先生は、①あいさつ運動を通して、子どもに思いやりの心に気づかせる。②「なぜ学習するのか」について、大人が意味や楽しさを伝える。③公園での遊びを通して、子どもの遊びを知るとともに、遊び方について具体的に教える。④いじめ問題の背景まで子どもが理解しているのかを考え、大人の姿勢（生き方）を伝えることの大切さの四つを中心に話されました。その中で、島田洋七氏著「佐賀のがばいばあちゃん」の本の一部を引用され、「人生は総合力」であることや「本当の優しさ」とは何かについても話してください。

貴重な体験となりました。

有川先生の分かりやすく楽しいお話しに、参加した学級生も、真剣に興味深く聞いていました。

講座後のアンケートには、「子どもへの声かけ、接し方によって、自尊心の育成につながっていくことが分かった。これからの子育ての参考にしたいと思った」など、今後の家庭での生活習慣の見直しを図ろうとする意欲を感じる内容が多く寄せられました。

これからも家庭教育学級での講話や学習を活用して、子どもの自尊心の育成や子育てに役立つ内容に取り組み、親子のコミュニケーションや家庭教育の充実につなげていきたいと思えます。



有川先生による講話